

まつもと じゅん 松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



平成16年5月20日号
発行 かながわ11区支部
編集長 平木 茂

5月号
2004年
No.15

問合せ●横浜市中区野毛町2-65 電話045-241-7800 FAX045-253-0585 ホームページ www.jun.or.jp

松本議員の国会レポート⑥

平成16年

【4月7日(水)】

- 午前11時 ●田中外務大臣政務官来訪
- 午後6時30分 ●中国大使館の招宴に出席。
当面の懸案などで意見交換

【4月9日(金)】

- 午前8時 ●外交部会
- 午前8時30分 ●総務部会 地方税財政改革プロジェクトチーム(PT)
- 午前11時 ●介護保険制度について陳情
- 正午 ●総務部会 市町村合併について
- 午後0時45分 ●代議士会 本会議案件の了承
- 午後1時 ●衆院本会議。民主党が年金制度改革案(与党案への対案)を提出
- 午後1時30分 ●総務省電子政府・電子自治体推進本部会合
- 午後3時 ●介護制度について陳情

【4月15日(木)】

- 午前8時 ●知的財産政策小委員会
- 午前8時30分 ●総務部会 地方税財政改革PT
今後の地方税財政改革について
- 午前11時 ●国会見学来客
- 正午 ●大勇会(河野グループ)例会
- 午後4時 ●日本の港を考える若手議員の会
総会
- 午後4時30分 ●移植医療を考える議員連盟の勉強会

田中政務官がお見えになったのは、JICA(国際協力事業団)が行っている青年海外協力隊についてです。この事業は昭和40年に始まり、これまでに2万5000人以上の日本の若者が約80か国に派遣されています。

外務省では、民間の人たちとならんで、さらに多くの県や市町村の職員を海外に派遣したいと考えて、そのために総務省の協力を求めてきたのです。私たちも地方公務員の意識改革にも結びつくことから、全面協力します。

4月8日にイラクで日本人3人が人質にとられるという事件が発生。さっそく外務省から報告を受けました。小泉首相はただちに「人質の救出に全力をあげるが、自衛隊の撤退要求には応じない」という政府方針を表明しました。

これには我が意を得た思いでした。その後、確たる情報が入らず、私たちもイライラ。15日になって無事解放されたのは何よりでしたが、事件は退避勧告が出ていた危険地域での「自己責任」という重い課題を残しました。



▲田中外務大臣政務官来訪



▲中山太郎外交調査会長より報告

日本は今、アジアの海運の拠点を韓国・釜山や台湾・高雄、シンガポールに奪われ、横浜をはじめとする国内の港は地盤沈下を余儀なくされています。地域経済の発展のためにもこのまま座視するわけにはいきません。というわけで結成されたのが「日本のみなとを考える若手議員の会」です。

当面、国土交通省が進めている横浜港を含むスーパー中樞港湾プロジェクトの強力推進を、全国の若い「みなと議員」とともに図っていきます。よみがえれ横浜港!

永田町日記

中田市長まで熱演! 大盛況だった「野毛大道芸」



熱演する中田横浜市長

第28回野毛大道芸が4月17日(土)と18日(日)に行われました。両日とも汗ばむほどの好天で、あわせて128万人と史上最高の人出を記録しました。野毛、みなとみらい、伊勢佐木町、吉田町、馬車道駅と広がった「舞台」では、10か国19組の外国人パフォーマーをはじめ計97組360人の芸人さん達が妙技を披露しました。

大道芸居の今年のだしものは「野毛忠臣蔵」。その舞台にマッカーサー元帥が乱入しました。今年のテーマ「アメリカ」にちなんだ特別出演ですが、演じたのはなんと中田宏横浜市長。実はこれ、高秀秀信前市長からの伝統。おなじみのレイバンのサングラスにコーンパイプで登場した市長の熱演に、おひねりが盛んに飛んでいました。

横浜の街にあふれた活気が、本格的な景気回復を呼び込んでほしいですね。芸人さんたち、スタッフの皆さん、お疲れさまでした。(純)

1か月も欠かさず年金保険料を納付しています

「年金保険料納付」についての質問をたくさんいただいていますので皆さんにご報告します。

私は東京薬科大学を卒業した昭和49年3月にエスエス製薬(株)に入社し、厚生年金に加入以来現在に至るまで1ヵ月も欠かさず年金保険料を納付していますのでご心配は無用です。

これからも「当たり前」のことを、「当たり前」をモットーに生きていきたいと思います。(純)



ピエロの子供たちに囲まれた松本議員



京浜臨海部の活性化で、活力ある神奈川経済の再生を

おびやかされる「食の安全」に危機感！

小泉あきお 神奈川県参議院選挙区支部長 に聞く



松本純 日本の景気がやっと上向いてきました。今はまだ大企業中心ですが、これを中小企業、地域に広げることが緊急の課題ですね。

小泉あきお その通りです。中小企業や地域では、まだ景気回復の実感が無い、というのが正

「羽田空港整備」をテコに
 活力ある神奈川を

世界情勢の大きくなった中、「三位一体改革」をはじめとしたこれからの日本、そして神奈川の政治をどのように見据えていけば良いのか……。

神奈川一区選出の衆議院議員・松本純氏と、党神奈川県参議院選挙区支部長で、小泉総理大臣の諮問機関である「第二十七次地方制度調査会」の委員を務めた小泉あきお氏に対談をしていただいた。



小泉あきお支部長

「世界一安全な国」を再び！
 松本 それに日本の治安ですね。「世界一安全な国」といわ

直なところだろうと思います。幸い羽田空港整備で、国が川崎側に空港施設を建設する「神奈川川口」構想に大きく踏み出しました。これをテコに京浜臨海部の活性化を軌道に乗せたいですね。

松本 そこで新産業を起し、地域特性を生かした商品開発を進める、というのが小泉さんの従来の持論ですね。

小泉 川崎、横浜、そして神奈川にはそのポテンシャルがあります。例えば、川崎の南武線の沿線に、わが国を代表するハイテク企業の工場、研究所などが集中しているのをはじめ、神奈川県内の企業の商品開発力はいへん大きなものがあります。私たちは地域の力にもっと自信を持っていい。活力ある神奈川は再生できますよ。



松本純 衆議院議員

れたのは、今は昔の話です。
 小泉 私の周囲でも「空き巣に入られた」「駐車している車が破られ、モノを盗られた」という話しが実に多い。治安の悪化は日々肌で感じます。そこで、自民党は今年を「治安強化元年」と位置づけて、今後五年間で、現在の危機的状況からの脱出を図ろうとしています。

「空き交番セロ」からテロ対策、不法に滞在する外国人組織犯罪対策まで、目に見える成果が大切です。

松本 交番におまわりさんがいっぱいいる、というだけでも随分違うと思います。

安全といえば、鳥インフルエンザなど「食の安全」も深刻な問題です。

小泉 チェック体制の強化ですね。今回の国や県の対策はおおむね適切といえますが、さらにその措置を検証して、より有効な安全策を確立しなければいけません。私は川崎の農家に生まれ、青果業も営んできましたから、「食の安全」には人一倍関心がありますし、おびやかされる「食の安全」に非常に大きな危機感を持っています。この面でも「世界一安全な国」になればいいですね。

年金は「公平性」が重要

松本 とところで、最近、年金制度改革が国民的な議論となつて



努力されている方が多いですね。地方議員として、そうした方たちと議論をしてきて、今、何よりも考えるのは、「国を変えたい、元気な神奈川を創りたい」ということです。そして、「誰もが誇りと自信を持つ日本にしたい」ということです。そのためには、すでに述べたテーマのほかにも国際平和と国益に沿った外交の確立や人間力を高める教育の実現などの課題もあります。今、そんな思いが火の玉となつて沸き上がっています。

(松本純総務務政務官室にて)

います。「安心して暮らせる福祉社会の実現」は、私もライフワークとして取り組んでいます。小泉 年金については、何よりも公平性が重要ではないでしょうか。そして安定した、将来に渡って持続可能な制度です。誰もがいずればお世話になるモノですから、公平で働いた人が報われる、わかりやすい制度に変えていくことが必要です。

国を変えたい、元気な神奈川を創りたい

松本 小泉さんは、川崎市議を五期務められ、川崎市議会議長、全国市議会議長会会長も歴任されました。そうした活動を通じて、今、一番感じているらっしゃるのとはどういふことですか。

小泉 地域にはさまざまな分野で懸命に